

## プロジェクトチームのミッション及びKPIについて

### 1. 令和4年度におけるプロジェクトチームのミッション

- (1) 令和4年度アクションプランのPDCA
  - ・事業の進捗状況や実績・効果を評価、次年度事業への反映
- (2) 令和5年度以降の取組方針の検討
  - ・令和5年度取組の検討（テーマ・方向性、個別事業）
  - ・「継続的な検討課題」の検討（テーマ・方向性、個別事業）
  - ・令和5年度アクションプラン策定（令和5年度予算事業取りまとめ）

### 2. 県庁オープン化戦略におけるKPIと背景・考え方について

**【KPI i】** ■一般行政部門職員(約3,200名)の1%以上/年がジョブチャレンジ制度や庁内複業制度を活用

**【背景・考え方】**

・成長戦略では、自主的に庁内の他部門や庁外の民間利害関係者、市町村を巻き込んで動くことのできる「越境人材」を育成するなどにより、県庁組織の活性化を目指すこととしており、ジョブチャレンジ制度や庁内複業制度の活用状況をKPIとする。

・今年度、両制度の活用実績が9名であるところ、一般行政職員の1%以上/年(32名以上/年)の利用を目指す。

**【KPI ii】** ■DCI(デジタル・ケイパビリティ・インデックス※)の構成要素の一つである「デジタル公共サービス」のスコアが全国上位の20.0以上を実現

※野村総合研究所が開発した都道府県のデジタル度を定量的に評価する指標

**【背景・考え方】**

・成長戦略では、デジタル技術の活用により、住民サービスの向上や住民参加を推進することとしていることから、県のデジタル度を評価する「デジタル公共サービス」のスコアをKPIとする。

・2021年調査での本県のスコア16.9(29位)からスコアを伸ばし、20.0を目指す。

(2021年調査では、20.0は全国トップ5に入る)